

2008-09 年ガザ侵攻に関連した動き

《政治的背景》

- 2004 年 3 月 ハマースの精神的指導者シャイフ・アフマド・ヤースィーン暗殺
- 4 月 ハマースの指導者アブドゥルアズィーズ・ランティーシー暗殺
- 5 月 ガザ地区のラファにイスラエル軍が侵攻、大規模な家屋破壊
- 11 月 PLO 議長のヤーセル・アラファートが死去
- 2005 年 1 月 選挙でマフムード・アッバースが自治政府大統領に就任
- 9 月 ガザ地区からイスラエル（入植地）が一時的撤退
- 2006 年 1 月 立法（自治）評議会選挙でハマースが第一党になる
- 3 月 ハマース主導の内閣が成立
 - EU、米国をはじめ各国が自治政府への援助を停止
- 6 月 イスラエル兵ギラド・シャリットの誘拐を受けた軍のガザ侵攻
- 7 月 イスラエルとヒズブッラーの間でレバノン戦争が起きる
- 2007 年 3 月 ファタハとハマースによる連立政権が発足
- 4 月 ウイノグラード調査委員会がレバノン戦争の中間報告書を提出
- 6 月 ハマースがガザ地区を制圧、ファタハ主導の西岸地区と分離
 - イスラエルはガザ地区に対する経済封鎖を強化
- 2008 年 1 月 困窮したガザ住民がエジプト国境にある壁を一時的に突破
- 6 月 ハマースとイスラエルが 6 ヶ月間の停戦に合意
- 11 月 停戦後初の戦闘が発生、パレスチナ人 6 人が死亡
- 12 月 19 日 ハマースが停戦の終了を発表